

講義名	研究演習		
講義コード	45417	授業形態	
担当教員	小笠原 宏	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
学部・学科	演習分野		
商学科	小笠原宏ゼミ(研究演習)		
概要説明			
<p>経営財務(企業財務)というお金のマネジメントの基本的な考え方、リスクに対する対処法などを、専門的なテキストや、資料を使いながら学ぶ。予習(テキスト輪読)からスタートして、経営全般に関わるビジネス・モデルの分析及び新規提案まで目指す。就職や進路相談を当初から行い、自らの方向性や適性の把握を明確に行ってそれにあった指導を行う。いくつかの著名な欧米テキスト(邦訳)をメインに(前期に指事、配布済み)提示する。進度に応じて関連文献は追加的に指示する。自宅での文献購読を行った上で講義および討論などに参加すること。感染症拡大回避のため、対面のみならず、オンライン(ZOOM)及びメール、ネット上ストーリーなどを必要に応じて並行活用していく。更に個別対応及び指導も並行して実施。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
<p>ネットワークビジネスの研究 中国自動車産業の考察 POSの意義と将来性 サッカービジネスの将来性考察 企業評価手法の研究 中古不動産流通市場について イスラム社会における保険事業の考察 職業としてのキャンブル アメコミを日本でもっと人気コンテンツにする戦略的考察 等</p>			
教員よりの要望			
<p>コロナ蔓延対策として、基本対面講義だが、オンライン講義(ZOOM)で行う。ネット上に講義を公開するので指定時間場所に参加のごと双方向発信の講義が基本なので、できるだけマイク(発言)ができる環境を整備して講義に備えることを強く推奨(教育効果のため)も並行実施予定。受講生の都合優先。 般的な解説は、本ゼミでは、専門分野は、自分のプロフィールの説明において、大学生活での専門勉強分野は、経営財務です。それに基づく経営戦略構築ですと明確に、相手に説明できる程度の知識と、思考法を見つけるように奮闘します。きちんと与えられた課題や、テキストをきちんと読んで予習などができることを望みます。高い授業料を払っているのですから、教員を「活用する」ということが必要だと思います。そうして所定期間だけでも集中して、メリハリ付けて勉強をすることが大事です。議論や討論の繰り返しにめげずに、自己活性化と胆力をつけて就職活動に望んで下さい。</p>			
選考方法			
基本的に面接。(他ゼミ研究演習)からの転属歓迎)			

評価方法	
<p>主要テキストを全員で輪読し、議論する形から開始。その後進捗度などに応じて資料、テキストなどを追加していく。応相談。学生の希望に応じて、様々なプロジェクトや企画に積極的に参加。その場合は指導応援をします。従来適用してきた(過去事例として、必要学生に対しては、基本的に基本参考文献の提示をするので、合計10冊程度の講義とレポート提出をもって評価。単位認定というも有った。) (あくまで回避的な対応の一つで有り、退ゼミを薦めることもあることを認識して欲しい。)。それを基にした個別面接指導を必要に応じて受けること。基本的に受講生各自の授業の出席及び進捗度に応じて評価する。</p>	
教員英字氏名	研究室
Hiroshi Ogasawara	3411
最終学歴	
慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得満期退学	
学位	
経営学修士(MBA)	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
趣味・特技	
クレー射撃 ゴルフ テニス 映画鑑賞 旅行 模型製作 他	
所属	
流通科学大学商学部	
所属学会	
金融学会 日本ファイナンス学会 経営財務研究会 証券経済学会 行動経済学会	
専門分野	
経営財務 経営戦略 投資戦略 金融論 実験経済学 行動経済学	
担当科目	
生活金融論 ビジネス・ゲーム 財務戦略論 投資戦略論 ファイナンシャル/プランニング(隔年担当) ゲーミング演習(院修/隔年) 研究演習、卒業研究	
備考	
<p>学生のレベルとニーズに応じて対応予定。(個別学生の学習の進捗度、希望など考慮して対応する)ただし、研究演習は選択なので、卒業単位稼ぎのための安直な履修はしないこと。授業出席、途中課題、学外視察など、積極的にこなしていく意欲を求める) 継続して4年生の卒業研究(卒論)があるが、論文作成は必須になるので、卒業研究とは切り離してこの履修することは別にかまわない。</p>	
実務経験の有無及び活用	
<p>外国銀行及びシンクタンク勤務経験があり、実業界、実務社会での要請や必要要件の理解認識を持っている。ほんとうの「実学」教育訓練の実践を目指している。</p>	